



高崎セントラルロータリークラブ

会長 / 三井田 賢一 幹事 / 水上 勝之 会報委員長 / 竹内 慎昌

2008.2.5

2007-2008 国際ロータリーのテーマ



ロータリーは分かちあいの心

2007-2008 18号

国際ロータリー会長 ウィルフリッド J. ウィルキンソン

2007-2008 クラブテーマ ロータリーを磨こう、そして一歩向上しよう!

■本日の例会 会長の日 (ロータリーの友記事紹介) 2月の誕生会 (会員、会員夫人合同)

■次回例会予定 12日(火)高崎南RC合同新年会 (ホテルメトロポリタン高崎)

1月22日(火)高崎セントラルロータリークラブ例会報告

■親睦新年例会

ビューホテルのノーヴァにおいてセントラル・ロータリークラブの新年親睦例会が行われました。

26名の会員の出席を頂き楽しく賑やかな例会となりました。

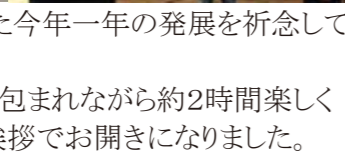
三井田会長の点鐘、幹事報告も今日は特にありませんでした。

加藤親睦委員長の進行で原浩一郎会員発声のもと全



員高らかに新年を祝い、また今年一年の発展を祈念して杯をあげました。

その後和やかな雰囲気にも包まれながら約2時間楽しくすごし、柳沢エレクトの挨拶で開きになりました。



▲先輩各位の席

▲ワイン談議櫻澤・原両君

▲柳沢エレクトと幹事



▲幸せ一杯の副会長



▲親睦を深める岩佐・吉村両君



▲中森君・高橋さん乾杯

1月22日(火)高崎セントラルロータリークラブ例会報告

■米山奨学会寄付 水上 勝之君



●卓話「高崎哲学堂について」

NPO群馬代表 財団法人高崎哲学堂常務理事

熊倉 浩靖様 年の瀬にTBSから東京大空襲に関して哲学堂を撮影したいという依頼がありました。戦中レーモンドさんが米軍の要請で日本民家データを提供し、その模型を使って大空襲の実験が行われたからだろうと思いましたが、レーモンドさんと東京大空襲の関係には大切な後日談があり、その話は群響の誕生や群馬音楽センターの建設に繋がっていきます。ほとんど知られていないことなので、今日の機会にそのことを話したいと思います。

知られているように、レーモンドさんは、帝国ホテル建設の際ライトに請われて来日し、その後日本に活動の場を求めますが、第二次戦勃発後アメリカに帰り(レーモンドさんはチェコ生まれですがアメリカに帰化)先ほどのような形で戦争に関わります。このことは、レーモンドさん

にとって辛い体験でした。自伝からもその痛々しさが伝わってきます。

しかしレーモンドさんは、仕方なかったことと諦めてしまう人ではありませんでした。

戦後日本に帰って最初に依頼されたリーダーズダイジェスト社の竣工にあたって、レーモンドさんは陶芸展を開きます。

レーモンドさんはなぜ陶芸展を開いたのでしょうか。日本人は、決して欧米人が思い込んでいるような好戦的な民族ではなく、平和と芸術を愛し、それを形にして日々の生活に生かして暮らす民族であることをGHQ周辺の欧米人に知らせるとともに、生活の糧のない陶工たちに少しでもお金や評価を与えたいと思ったからです。japanは漆器のことでありますが、磁器を表わすchinaに対して陶器もまたjapanであることを伝えたかったのかもしれませんが、そこには謝罪の気持ちもあったかもしれませんが、それ以上に日本人は新しい平和と民主主義の世界を共有できる民族であることを、世界の人だけでなく、日本人自身に自覚させたかったのだと思います。

同じ思いを抱いていたのが井上房一郎さんでした。群響が同じ精神で立ち上げられています。

■論語より■

論語

子曰く、吾れ嘗て終日食らわず。終夜寝ねず、以て思う。益なし。学ぶに如かざるなり。

孔子が言われた。私は以前、一人で一日じゅう食事せず、一晩じゅう寝もしないで、思索にふけたことがあったが、まったく無駄であった。

一人でも考えこむばかりでは駄目で、他からも学ばなくては進歩がない。

学習と思索の相乗効果をいったものである。学問をするのにも、思索だけしているのではなく、師や書物からも学びながら思索しないと、独断に陥り、一人よがりの学問になってしまうと、警告したのである。

※「声に出して活かした論語70」 三戸岡道夫 より抜粋



■2・3月の例会予定

2月23日(土)『ロータリー創立記念日を祝おう例会』 点鐘：18：30、場所：レストラン風車 (19日振替)

26日(火)卓話 「県民球団・群馬ダイヤモンドペガサス」 糸井丈之 球団代表

3月4日(火)会長の日(ロータリーの友記事紹介) 3月の誕生会(会員、会員夫人合同)

11日(火)卓話 18日(火)クラブ奉仕「茶道」例会 25日(火)社会奉仕「植樹」例会

出席報告 (1月22日)	会員総数	35
親睦新年例会	出席計算会員数	34
	当日出席者	26
	会場出席率(%)	76.47

出席報告 (1月29日)	会員総数	35
	出席計算会員数	32
	当日出席者	14
	会場出席率(%)	43.75

■ロータリーの友2月号 横組み

RI指定記事

ポリオ今まさに行動のとき P21-28 開かずの門を開く

文 ブリン・ネルソン 写真 ジェン・マルク・ギボーロータリーは各クラブが今後3年間、ポリオ撲滅に向けて年間1,000ドル(約11万円)を集めるよう、要請しています。すべてのロータリアンが、特に新しい会員が、この歴史的な取り組みに参加するよう奨励されています。この驚くべき地球規模の偉業の一端を担うにはどうしたらよいのか、さらに学びましょう。



ニコニコBOX

関口 朋克 君 早退します。 橋本 良真 君 先週は欠席して申し訳ございませんでした。本日は熊倉さんよろしくお願ひします。 三井田 賢一 君 熊倉先生、本日は卓話有難うございます。 水上 勝之 君 熊倉さん今日は卓話有難うございます。

例会場・事務所 / 高崎ビューホテル 高崎市柳川町70 TEL 027-310-7722 FAX 027-310-7733 例会 / 毎週火曜日 18時30分 E-mail:takasaki-cent@rid2840.jp